

【院内フォーミュラー(推奨薬リスト)】

薬事審議会 フォーミュラー小委員会 2019年12月作成

HMG-CoA 還元酵素阻害薬(スタチン)

	製品名	薬価(円)
第一選択薬	ロスバスタチン錠 2.5mg「DSEP」(ストロングスタチン)	19.3
	プラバスタチン Na 錠 10mg「ケミファ」(スタンダードスタチン)	36.1

理由:ロスバスタチン錠は薬物代謝酵素(CYP)の影響を受けにくく、他剤との相互作用が少ないこととLDLコレステロールを低下させる作用が強力であることから、第一選択薬とする。プラバスタチン Na 錠はスタンダードスタチンの中でCYPの影響を受けにくく、他剤との相互作用が少ない点からスタンダードスタチンにおける第一選択薬とする。

	製品名	薬価(円)
第二選択薬	アトルバスタチン錠 10mg「EE」(ストロングスタチン)	30.9
	ピタバスタチン Ca 錠 1mg「サワイ」(ストロングスタチン)	16.3

理由:ストロングスタチンの中から長年使用経験があるアトルバスタチン錠と、CYPの影響を受けにくいピタバスタチン Ca 錠を第二選択薬とする。
ピタバスタチン Ca 錠には1mgと2mgの採用があるため用量に応じて処方してください。

*薬価は2019/10/1時点のものであり、変動することがあります。

【参考資料】 *薬価は 2019/10/1 時点のものであり、変動することがあります。

院内採用薬 薬価(円)		リポバス錠5	ローコール錠30mg	アトルバスタチン錠10mg「EE」	ピタバスタチンCa錠1mg「サワイ」/2mg「サワイ」	プラバスタチンNa錠10mg「ケミファ」	ロスバスタチン錠2.5mg「DSEP」
		77.5	76.6	30.9	1mg 16.30(円) 2mg 30.70(円)	36.1	19.3
適応症	高脂血症	1日1回5mg 1日20mgまで 増量できる。 (夕食後投与 が望ましい)	-	-	-	1日10mgを1回 又は2回に分け経口投与 1日20mgまで増量できる。	-
	高コレステロール血症	-	1日1回夕食後20mg～30mg 1日60mgまで増量できる。	1日1回10mg 1日 20mg まで増量できる。	1日1回1～2mg 1日4mgまで増量できる。 (肝障害のある患者に投与する場合には、 開始投与量を1日1mgとし、 最大投与量は1日2mgまでとする。)	-	1日1回2.5mg(早期にLDL-コレステロール値を低下させる必要がある場合には5mgより投与を開始してもよい。投与開始後あるいは増量後、4週以降にLDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には、漸次10mgまで増量できる。)
	家族性高コレステロール血症	1日1回5mg 1日20mgまで 増量できる。 (夕食後投与 が望ましい)	1日1回夕食後20mg～30mg 1日60mgまで増量できる。	1日1回10mg 1日 40mg まで増量できる。	1日1回1～2mg 1日4mgまで増量できる。 (肝障害のある患者に投与する場合には、 開始投与量を1日1mgとし、 最大投与量は1日2mgまでとする。)	1日10mgを1回 又は2回に分け経口投与 1日20mgまで増量できる。	10mgを投与してもLDL-コレステロール値の低下が十分でない、 家族性高コレステロール血症患者などの重症患者に限り、さらに増量できるが、1日最大20mgまでとする。